

第2回委員会の検討における主な意見について

備蓄物資等	寒さ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・熱交換式のジェットヒーターは、暖房効果が高く、また二酸化炭素が室内に一切出ないことから、備蓄として検討してはどうか ・キャンプ用の簡易ベッドは、ダイレクトに背中に冷気が当たり暖房性能がないので、保管スペースの課題はあるが、「箱型」の段ボールベッドが効果的である。また協定により調達する場合は、停電の場合は供給まで1週間待つ可能性もあることから、一定数の備蓄が望ましい
	食糧対策	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に「調理器具が不足している」とあるが、家庭科室にある調理器具の一部を使わせてもらうよう検討してはどうか ・全ての食品をアレルギー対応としても良いのではないか ・甘味食品は、羊かんのような湿り気と甘みがある食品が備蓄されると良い
	トイレ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の車椅子対応トイレは、災害時には障がい者の方が専用使用するトイレとした方が良い ・ストーマ装具は、協定型ではなく備蓄品として検討してほしい ・乳幼児用がおむつを取り替えるベッドを備蓄品として入れてはどうか ・ムスリムの方は体を洗浄してお祈りするので、おしりふきのようなものがあれば良い ・し尿凝固剤は使用方法でトラブルが多いと聞くので、ビニール袋タイプの凝固剤を使わない携帯トイレが望ましい
	照明対策	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の技術の授業で作成のラジオが役に立ったと聞くので、一種のローリングストックが出来ないか ・投光器は、出来る限りLEDのものが良い
	停電対策	<ul style="list-style-type: none"> ・停電時にはガソリン確保が非常に難しくなることを考えると、LPガスボンベは備蓄が出来るのでガス型の発電器にすることも一つではないか ・情報通信機器としてテレビを備蓄したほうが良い ・携帯電話への充電だけに特化せず、モバイルバッテリー専用の充電も考慮したほうが良い
配慮スペースの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ペット対策については、「札幌市動物の愛護及び管理に関する条例」も踏まえて、普段から一緒に生活をしているペットをできる限り側に置くことが、人の避難所生活の役にも立つことを理解した上で、細かく議論を進めてもらいたい ・外国人への配慮として、ムスリムの方などがお祈りをするための場所があると良い ・知的障がいの方への配慮として、早い時期に福祉避難スペースを別室に確保し、静かにゆったりとしたスペースがあると良い ・聴覚障がい者などの方への配慮として、情報提供を言葉ではなくホワイトボードなどを活用した方が良い ・妊産婦の方については、スペースではなく福祉的避難所という形で対応を考えたほうが良い 	